

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Cアミュー三国ヶ丘	階数	地上3F
建設地	堺市堺区中三国ヶ丘町7丁212番1他	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	64人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年7月22日
敷地面積	1,714㎡	作成者	(株)広谷建築総合事務所
建築面積	920㎡	確認日	2013年7月22日
延床面積	2,562㎡	確認者	梶原良介



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地形状に合わせて建物をL型に配置し採光・通風等の確保に努めると共に、建物全体をオール電化仕様とし周辺環境への影響に配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 ■音環境への配慮(開口部遮音性能T-2) ■光・視環境(バルコニーにより直接日射量の低減/カーテン及び庇によりグレアを制御等) ■空気質環境(F☆☆☆☆建材の採用等)	Q2 サービス性能 ■バリアフリー計画(段差の解消・手摺の設置等円滑化基準の遵守) ■維持管理(同フローア床材統一/掃除用コンセント設置等) ■信頼性(非常用発電設備の設置・通信手段の多様化の構築等)	Q3 室外環境(敷地内) ■生物環境の保全(緑地の維持管理に必要な設備を設置し、管理方針を計画等) ■まちなみ・景観(敷地周囲の緑化)
LR1 エネルギー ■建物の熱負荷抑制(外壁ALC及び断熱材の強化による熱負荷抑制)	LR2 資源・マテリアル ■非再生性資源の使用量削減(躯体と仕上材が容易に分別可能 鉄骨ALC構造により将来の再利用性向上)	LR3 敷地外環境 ■大気汚染防止(オール電化仕様によるCO ₂ 排出量の低減) ■交通負荷抑制(自転車置場・駐車場の確保/渋滞・路上駐車等の抑制) ■光害抑制(「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たし、屋外広告物照明無し)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	Cアミーユ三国ヶ丘新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区中三国ヶ丘町7丁212番1他3筆	1.3	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,561.84 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.1	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	5.0	4
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		2.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.3	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
■特になし	
特に配慮した事項	
■建物全体をオール電化仕様とする。	